

大会分科会の内容

(敬称略)

分科会	テーマ	基調講演者	□コーディネーター・パネリスト
第1分科会 「組織運営」	PTAの力を発揮できる組織について ～望ましい専門部の活動を目指して～	県P連顧問 松尾 正弘	□県教委生涯学習文化課社会教育主事 久慈 孝 ・前石切所小PTA会長 戸来 千秋 ・種市小PTA副会長 中村 照夫 ・大野一中PTA会長 権谷 正一
第2分科会 「研修活動」	ひろげよう 心を育む 読書・図書館・ボランティア活動	芸術あそび 「虹色の部屋」 主宰 桜川 ちはや	□日野沢小校長 田中 淳 ・普代小読書ボランティア「くれよん」代表 佐藤 美香 ・久慈湊小PTA図書館ボランティア 落合 雅子 ・侍浜小PTA副会長 越戸 みどり ・角浜小PTA読み聞かせ「森のうさぎ」代表 北野 澤恵子
第3分科会 「健全育成」	「小中連携で『野田っ子』を育成」 ～一村一校の特色を生かして～	盛岡大学非常勤講師 野口 晃男	□元野田村PTA連合会会長 小野 寺健二 ・元野田中学校長 鈴木 敢治 ・スポーツ少年団柔道直心館指導者 岩山 勝行 ・野田小養護教諭 千葉 文子
第4分科会 「家庭と 小学校教育」	「家庭学習の充実と読書活動の 推進への取り組み」	元県立図書館長 松尾 弘一	□洋野町教育振興会会長 阿部 俊夫 ・種市小校長 柳村 栄 ・宿戸小教諭 柏崎美津子 ・平内小PTA会長 北山 修一 ・中野小PTA副会長 中谷美由紀
第5分科会 「家庭と 中学校教育」	「高めろ！意欲 伸ばせ！個性」 ～一人ひとりの子どもの 可能性を考える～	県教育委員会 教育委員長 八重樫 勝	□大川目中校長 伊藤 隆 ・福岡中PTA会長 浪岡 正行 ・前北陵中PTA会長 菊地 正樹 ・夏井中PTA会長 下野 智
第6分科会 「家庭教育 セミナー」	「いま、子どもの心を支える 家族の絆」 ～育もう人と人との繋がりを～	水沢青少年育成 市民会議事務局次長 大村 千恵	□フリーアナウンサー 小田加代子 ・奥州市水沢青少年育成市民会議事務局次長 大村 千恵 ・県PTA連合会顧問 小野寺明美 ・高砂スポーツ少年団代表指導者 西川 一弘 ・元久慈湊小PTA会長 下山 琢也
第7分科会 「特別課題」	「故郷に誇りを持ち、 心豊かな子どもを育むPTA活動」	前琥珀博物館館長 佐々木 和久	□生涯学習推進センター社会教育主事 関上 康 ・大川目小親父の会会長 下館 佳光 ・元山形村村長 清水 恭一 ・バッテリー村村長 木藤古徳一郎

県PTA研究大会久慈大会、  
盛会裏に終了

やませの大地から太い根っこと絆を



第39回岩手県PTA研究大会久慈大会がさる9月4日(土)、大会主題「やませの大地から太い根っこと絆を」の下、久慈市文化会館アンバーホールを主会場に県内各地から1,095名の会員が集い開催された。午前中は七分科会で行われ、午後は開校行事に先立ち、普代中学校生徒による「鶴鳥神楽」

披露、「北限の海女」挨拶など多彩なアトラクション披露があり、参加者から大きな拍手を浴びた。全体会には山内隆文久慈市長、岩手県教育委員会教育長(代理)・県北教育事務所長熊谷勇夫様)はじめ多くのご来賓の出席を頂いた。その後、「私の歩んだ道」妻に支えられ「つかんだ栄光！」と題してアテネパラリンピックと北京パラリンピック両大会のメダリストで洋野町在住の大井利江氏による記念講演が行われた。なお次期平成24年の開催地は紫波地区となっている。



第39回岩手県PTA研究大会  
久慈大会を主管して



大会実行委員長 野場 秀輝  
9月4日、わが町久慈市に於いて、第39回岩手県PTA研究大会久慈大会が開催されました。たくさんの方のPTA会員の皆さんにご来場頂き、温かなご意見、ご感想を頂き、大成功のうちに終えることが出来ました。三十年振りの開催となった久慈大会の実行委員長の大役を頂いた時は



あまり実感が湧かずに居りましたが大会当日が近づくにつれ、各市町村の教育委員会の皆さんやPTA会員の皆さんのご協力を仰ぐ中で、この大会の責任の重大さに気付かされました。久慈大会の実行委員会事務局を主導して来られた先生が突然異動となり、おんぶに抱っこだった私は大変慌てましたが、前任の先生の入念な準備と新しい事務局の頑張りにより大役を果たすことが出来ました。

大会参加レポート  
全体会  
久慈大会に参加して



第39回岩手県PTA研究大会久慈大会は晴天に恵まれた中、県内約1,000名のPTA会員参加のもと「琥珀の里」久慈市で開催されました。記念講演では、パラリンピック円盤投げのメダリストの大井利江氏が「私の歩んだ道」妻に支えられた栄光！という演題で講演され、七つの分科会では、各課題について多くのPTA会員が学び、アトラクションでは、北限の海女の皆さんのインタビュや子どもたちによる中野流鶴鳥七頭舞神楽が披露され、会を盛り上げました。記念講演では、「あきらめるのは簡単だが、日々のこつこつとした努力が、どのくらい大切か知った」と話し「年齢、性別、障害の有無は関係なく、夢を持つことは素晴らしいこと。夢中になれる夢を探して」と話され、パラリンピックでの出来事や円盤投げの円盤を使い、競技の難しさや面白さなどを最後まで熱く講演されました。

分科会レポート  
第6分会 家庭教育セミナー



心の中心に響き残るもの  
久慈地区母親委員会は「家庭教育力の向上」を軸に、昨年の開催経験をもとに、より深く、充実したセミナーを目指して活動してまいりました。今年度は県PTA研究大会の分科会でもあり、母親委員としての役割を見つめ直す良い機会でした。基調講演では、子ども達を取り巻く現在の厳しい現実の中にあっても精一杯に生き抜こうとする子ども達の力強さ、再生の力に勇気付けられ、パネルデスカッションでは、今、子ども達、そして私達に何が必要なのか様々な観点から見えてきたように思います。大会を終えた今は充実感と共に、皆様の心に何か一つでも響き、残るものがあるって欲しいと願う気持ちでいっぱいです。  
改めて「家庭教育セミナー」にご賛同、ご尽力頂きました皆様から感謝申し上げます。

第2回 PTAリーダー研修会開催される

岩手県PTAリーダー研修会が7月10日(土) 県内の各単位PTA会長、評議員473名が一堂に会し、盛岡市渋民文化会館を会場に開催された。



はじめに岩手県教育委員会法貴敬教育長が「岩手県の教育について」と題して県の教育方針やPTA活動への期待、子ども達を取り巻く課題について講話。続いて米澤慎悦岩手県PTA連合会会長が県P連の22年度活動方針と目標を説明した後、各担当副会長が事業と予算説明を行い、参加者との質疑、意見交流が行われた。

県教育長講話はこれまで新年度総会で35市町村PTAの代表に対し頂いてきたが、今回はより広く、深く浸透を図りたいとの考えから全ての単位PTA会長を対象として実施されたものである。

県P連の活動や運営課題、法人制度改革への対応、見舞金給付事業運営等々、各単位PTA会長と県P連役員が意見を交わしあうことにより、今後、各地域のPTA活動リーダーであるPTA会長を先頭に子どもたちの笑顔作りのため、課題や目標を共有したきめ細かな活動展開が期待される。

